YAMANASHI

富士トラムネットワーク構想（素案）

（概要版）

令和8年11月
山梨トラム推進グループ

富士トラムネットワーク構想

富士トラムネットワーク構想は、富士山麓から五合目を結ぶ富士トラムの導入を出発点として、
山梨県全体の基幹公共交通ネットワークの構築を目指すもの

背景・課題

- リニア中央新幹線の開業や広域交通ネットワークの充実により、県内外からの来訪者増加の見込み
- 観光地や交通結節点では、混雑・渋滞などオーバーツーリズムの課題が顕在化
- 来訪者の利便性向上と地域の持続可能な発展を両立する交通体系が必要

目的

○ 富士山の課題解決（イコモスからの宿題対応＝国際公約）
- 富士山の持続可能な利用を支える新たな交通システムを構築

○ 県内二次交通の抜本的高度化（県民・来訪者の利便性向上）
- 富士山麓とリニア山梨県駅を接続し、リニア山梨県駅を富士山観光の玄関口とする
- リニア山梨県駅から県内主要拠点にネットワークを展開し、リニアと富士トラムの効果を県内に波及

富士トラムネットワーク構想

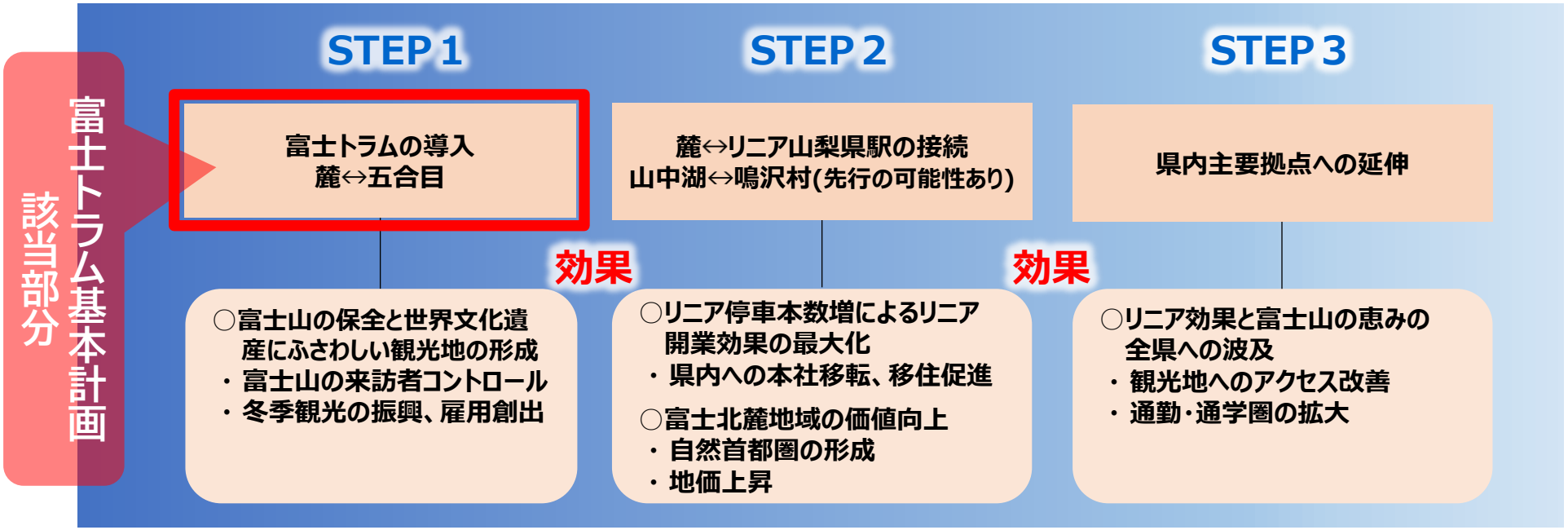
「富士トラム」の定義

単一の車両を指すものではなく、統一ブランドのもと、地域や路線の特性に応じて選択される基幹路線の交通システム

- 共通の車両デザイン、運行情報・乗継案内、予約・決済システム等のもとで提供・認知
- 交通需要、道路条件、地形、既存交通の供給状況などに応じて選択

※ 富士山においてはゴムタイヤ式の多連節車両をモデルとし、その他の地域では基幹路線として最適な交通システムを選択

ネットワークの将来像



富士トラムネットワーク構想

